

『新 言語文化 改訂版』（15 三省堂 現国 015-902）——検討の観点と内容の特色

検討の観点	内容の特色
1. 内容	見通しと振り返りを意識した、指導と評価の流れにそった単元構成である。 目標を立て、その達成に向けた学習活動を行い、評価する、という流れにそった単元構成で、そのまま授業づくりにつなげることができる。 現代につながる国語の学びを実現する選び抜かれた作品群が採録されている。 学習目標に合わせて、古文・漢文・近代以降の文章作品を組み合わせる単元が構成されており、「言語文化」という科目の特性を意識した学びを行うことができる。 生徒の主体性を引き出す学習活動の指示とサポートが設定されている。 教材冒頭に目標と学習活動が示され、言語活動を通じてどのような力をつけるのが明確になっており、主体的に学習に取り組むことができる。 生徒の学習活動をサポートする豊富な資料や図版・写真が掲載されている。 教材に関連して知識・技能が身につく各種コラムや図版・写真が豊富に掲載されており、学習の理解を助けるとともに、生徒の意欲を引き出すことができる。 ①学習の見通しと振り返りが位置づけられ、「学びに向かう力」を育成することができる。 ・単元及び単元内の教材冒頭に学習目標を提示し、単元末尾には学習を振り返る機会を設けている。学習をとおして身につけた力を自分で診断・評価し、次の学習に生かすことができるようになっている。 ・学習指導要領の指導事項をふまえて学習の系統化を図り、「知識及び技能」が段階的かつ体系的に習得できるようになっている。 ②学び方を学び、言葉で考える力、語彙力を拡充することができる。 ・「古文を読むために」「漢文を読むために」「物語を読むために」といった古典や文学の読解を支える知識・技能を解説したコラムが教材内に適宜配置され、学習活動の文脈の中で適切に活用できるようになっている。 ・各単元末では、言葉の文化的背景や変化について考えることができる「語彙」を取りあげ、語感を磨き、理解できる語句と使える語句を増やすことができるよう工夫されている。 ③定評ある教材と時代の潮流を捉えた教材がバランスよく配置されている。 従来から定評のある教材を機軸としながら、現代の作家による古典の訳文や言語文化の流れを的確に押さえることができる新しい作品が教材化されており、生徒の興味・関心を喚起できるよう工夫されている。 ④自分の考えを形成する学習過程で、思考力・判断力・表現力を養うことができる。 ・全単元において、自分の考えを形成し、考えをより深めていくことができるよう、教材配列が工夫されている。特に、対話をとおして考えたり問題解決したりする場が充実しており、柔軟で多面的な思考を育成することができる。 ・「選択総合単元」では、テーマや作品、活動形式を自分で選ぶ学習が設定されており、思考をはたかせながら、創意工夫を追究する学習が展開できる。 ⑤豊かな読書、言語文化の継承・発展を目指すことができる。 ・単元末尾の「ブックガイド」は、多様なジャンルの読書に誘い、本を媒介とした豊かな言語文化にふれることができるよう工夫されている。 ・教材に関連して「広がる読書」が適宜設定され、さまざまな文章にふれることができる。「作家とよむ」シリーズでは、古典の現代的な意義を考えることができるようになっている。

『新 言語文化 改訂版』（15 三省堂 現国 015-902）——検討の観点と内容の特色

2. 構成・分量	●「入門単元」「選択総合単元」を含む 8 単元と、春・夏・秋・冬をテーマに興味をもって取り組める 4 つの「書くこと」の単元で構成されており、各単元で身につけたい力が明確になっている。 ●はじめに「入門単元」を置き、意欲をもって学習をスタートすることができるよう工夫されている。また、最後に「選択総合単元」を置き、探究的な学習に開いていくことができる構成になっている。 ●単元ごとに古文、漢文、近代以降の文章を配置し、総合的なカリキュラムをスムーズに組み立てることができるようになっている。（古文 7 教材／漢文 7 教材／近代以降の文章 12 教材） ●教材に関連したコラムのほか、古典や文学に関する知識・技能を解説したコラムが充実している。 ●「広がる読書」では、学習した教材を別の視点から取り上げた作品を掲載し、さらに読解を広げ、深めることができる。 ●資料編には、「日本の言語文化史」「基本古語辞典」「漢文のきまり」「言語活動のための基礎用語集」など、適宜参照できる情報が豊富に掲載されている。
3. 表記・表現 及び指導上 の工夫	●挿絵や図版を適所に配置することで、生徒の学習意欲を喚起し、内容の理解を支えている。 ●用語・記号は統一されており、生徒が理解しやすい記述になっている。 ●脚注は分量・内容とも適切である。また、平易な表現で記述されており、生徒の理解を助けるものとなっている。 ●全教材に二次元コードが付してあり、学習をサポートする資料やデジタルコンテンツが充実している。また、授業を支援する教師用指導書や教材、ICT ツールなどが充実しており、指導しやすく学習しやすい教科書である。
4. ユニバーサル デザイン	●専門家の知見を参考に、特別支援教育ならびにユニバーサルデザイン（UD）に配慮し、誰もが使いやすい教科書となるよう工夫している。 ●カラーユニバーサルデザイン（CUD）への対応は、色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色にしている。識別しにくい配色は避け、色だけの違いに頼らず、形の違いや、記号・番号・説明文などの補助的な手がかりを設け、色の濃淡や罫線の使い分けなどで違いが明確になるように配慮している。 ●教材で使用している文字に UD フォントを使用し、読み誤りなどが生じにくいように配慮している。
5. 印刷・造本 などの配慮	●活字・写真・挿絵は鮮明で、レイアウトも工夫されており、学習に取り組みやすい教科書となっている。 ●教科書用紙は、環境の保護や資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用している。 ●印刷に使用しているインキは、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油のものを使用している。 ●製本は堅牢で、十分な耐久性を備えている。また、ページの開きがよく、読みやすい製本方式を用いている。
【総合所見】 生徒の学びに向かう力を引き出す明解かつ多様な教材が採録されており、学習過程や学習内容が明確で、言語活動の充実が図られ、質的ならびに分量も適切である。生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を習得し、それらを活用して、思考力・判断力・表現力等を育成するための工夫が随所に施され、主体的・対話的で深い学びができる。この教科書は、科目「言語文化」の目標である、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成すること（上代から近現代に受け継がれてきた日本の言語文化への理解を深めること）に適した教科書である。	